

1. 科目名（単位数）	心理援助法特論（2 単位）	3. 科目番号	PSMP5272
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	講義と演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	まず、心理職として目指される態度や心理面接の基礎的な構造などについて採り上げる。そして、さまざまな心理療法が、どのようにクライアントの課題や力を見立て、どのような働きかけを行い、どのような結果を狙っているかについて、理論よりも事例からより具体的に触れ、さまざまな検討の枠組み・発想の仕方を学ぶ。そのために、5つの異なるアプローチを採り上げる。		
8. 学習目標	心理職は、学派にとらわれずに、クライアントや現場に応じて、必要な役割を担い、心理アセスメントを行い、適切な心理学的支援法を用いて、クライアントやその現場に資することが求められている。そうした基礎となる、視点や発想を身につけることが目標である。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	○「心理援助」や公認心理師法にある「心理学的支援」において、セラピストは何を目標としながら、どのような視点や技法をクライアントへ向けているのでしょうか。各人が関心をもつ技法(学派)についてその概要をまとめなさい。その際、そうした心理援助は、法律相談や身体医療の治療と異なるものであるか、また、我々が日常的に経験する友人や家族との相談・対話と異なるものかについて見解を述べてください。さらに、それらを踏まえ、心理援助（心理学的支援）の有効性や課題についてまとめてください。 ○レポートの要項はおって示します。		
10. 教科書・参考書 ・教材	【教科書】杉原保史，福島哲夫，東 斉彰『心理学的支援法』北大路書房（2,700 円+税）		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 各テーマの内容を理解していること。 自身の日常や感性などと絡めて考え、自分なりの意見を有すること。 ○評定の方法 ディスカッションの内容・取り組みの積極性 60% レポート 40%		
12. 受講生への メッセージ	「相談援助」という営みは多くの対人支援職が行っています。他方、わたしたちも仲間や家族との間でさまざまな相談や問題解決のための話し合いを行っています。相談や支援とはどのようなもののでしょうか？さらには心理士が実施する相談にはどのような特徴があるのでしょうか？ 心理士としての支援について、講義内でのディスカッションはじめ常に問題意識を高めてください。		
13. オフィスアワー	初回の講義でお知らせします。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ，学習の目標，学習の内容，キーワード，学習の課題，学習する上でのポイント等】			
1. テー マ	心理学的支援とは？		
【学習の目標・内容】心理学的支援を巨視的に理解する。 【キーワード】心理学的支援、支援の学派、治療同盟、支援の限界 【学習の課題】教科書第1章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。			
2. テー マ	心理力動論		
【学習の目標・内容】心理学的支援が可能となる背景としての心理力動論を理解する。 【キーワード】無意識、洞察、転移・逆転移、欲求、超自我、自我、防衛 【学習の課題】教科書第2章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。			
3. テー マ	行動論		
【学習の目標・内容】代表的心理学的支援となる「認知行動療法」及び「応用行動分析」を理解する。 【キーワード】行動論、学習、ピーターの事例 【学習の課題】教科書第3章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。			
4. テー マ	システム論		
【学習の目標・内容】心理学的支援における「システム」とは何かを理解する。 【キーワード】システム論、原因と結果、直接的因果律と円環的因果律 【学習の課題】教科書第4章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。			
5. テー マ	心理学的支援における価値と倫理		
【学習の目標・内容】臨床家は何のために心理学的支援を行い、何を実現しようとしているのか理解する。 【キーワード】価値、職業倫理、命令倫理と理想追求倫理、意思決定のプロセス 【学習の課題】教科書第5章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。			

6 . テ ー マ	援助的コミュニケーションのスキル
【学習の目標・内容】 心理学的支援の手段であるコミュニケーションを理解する。 【キーワード】 援助的コミュニケーション、言語的/非言語的コミュニケーション 【学習の課題】 教科書第 6 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
7 . テ ー マ	気づきを促進する
【学習の目標・内容】 力動的心理学的支援によってクライアントの気づきを促進する技法を理解する。 【キーワード】 葛藤、支持と直面化、フィードバック、セラピストの自己開示 【学習の課題】 教科書第 7 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
8 . テ ー マ	新しい体験を提供する
【学習の目標・内容】 心理学的支援におけるクライアントの認知面での発見(気づき)の体験を理解する。 【キーワード】 新しい体験、修正感情体験 【学習の課題】 教科書第 8 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
9 . テ ー マ	より適応的な行動の学習を促進する
【学習の目標・内容】 特に行動療法と認知療法について全体像を理解する。 【キーワード】 行動論、認知論 【学習の課題】 教科書第 9 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 0 . テ ー マ	関係者のシステムに働きかける支援のあり方
【学習の目標・内容】 公認心理師における「関係者の支援」について理解する。 【キーワード】 公認心理師法、システムズアプローチ、ソリューション・フォーカスト・アプローチ、ナラティブ・セラピー 【学習の課題】 教科書第 10 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 1 . テ ー マ	プレイセラピー
【学習の目標・内容】 子どもに対する心理学的支援のひとつを理解する。 【キーワード】 子どもへの心理学的支援(心理療法)、遊戯療法、治療的意味 【学習の課題】 教科書第 11 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 2 . テ ー マ	グループセラピー
【学習の目標・内容】 心理学的支援における「グループ」の利用について理解する。 【キーワード】 グループ、枠組み、メンバー 【学習の課題】 教科書第 12 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 3 . テ ー マ	地域支援の意義
【学習の目標・内容】 地域に対する心理学的支援やコミュニティ心理学を理解する。 【キーワード】 コミュニティ心理学、コンピテンス、エンパワメント 【学習の課題】 教科書第 13 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 4 . テ ー マ	訪問による支援
【学習の目標・内容】 面接室を離れた訪問による心理学的支援を理解する。 【キーワード】 アウトリーチ、治療構造と枠組み、学校・医療・保健領域、緊急事態 【学習の課題】 教科書第 14 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	
1 5 . テ ー マ	心の健康教育
【学習の目標・内容】 心の健康を維持・促進するための心理学的支援を理解する。 【キーワード】 心の健康、心の病、排除の心理、心理教育 【学習の課題】 教科書第 15 章の理解と問題意識の展開 【学習のポイント】 テーマにかかわる自身の(および他者との)体験をふりかえり、それらの言語化や視覚(イメージ)化を図る。	